

0.1 場合の数

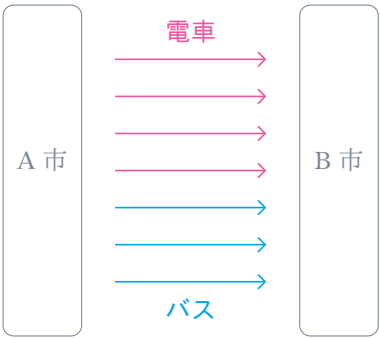
何通りの「場合」が起こり得るかを数え上げたものを **場合の数** という。

0.1.1 和の法則

たとえば、A 市から B 市まで行ける路線が、

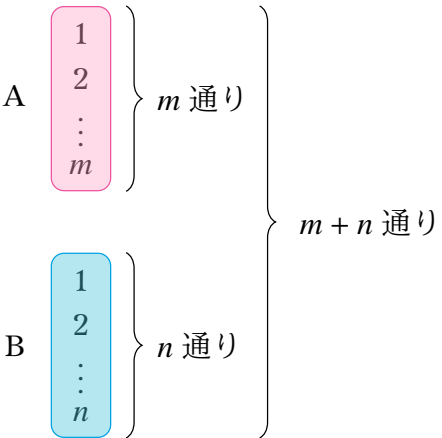
- 電車で 4 路線
- バスで 3 路線

あるとする。



このとき、電車かバスの「どちらか」で A 市から B 市まで行くときには、 $4 + 3 = 7$  パターンの路線から選ぶことになる。

和の法則																			
A と B は同時に起こらないとする。																			
A の起こり方が $m$ 通り、B の起こり方が $n$ 通りあるとき、																			
A と B のどちらかが起こる場合は $m + n$ 通り																			



### 0.1.2 積の法則

### 0.1.3 順列

### 0.1.4 階乗

### 0.1.5 組合せ

### 0.1.6 二項展開とパスカルの三角形